

桑名市立小中学校再編計画策定に向けた
令和5年～令和45年（2023～2063年）児童・生徒数及び学級数の
推計結果について（報告）

桑名市教育委員会事務局
教育環境再構築プロジェクト



本物力こそ桑名力

児童・生徒数及び学級数の推計について①

●推計対象期間／対象者

- ・令和5年(2023年)4月1日時点の住民基本台帳人口を基に、令和45年(2063年)までの
40年間(各年)を推計
- ・市内各学校区における6歳から14歳までの児童・生徒が対象(国籍問わず、住民基本台帳上全てが対象)

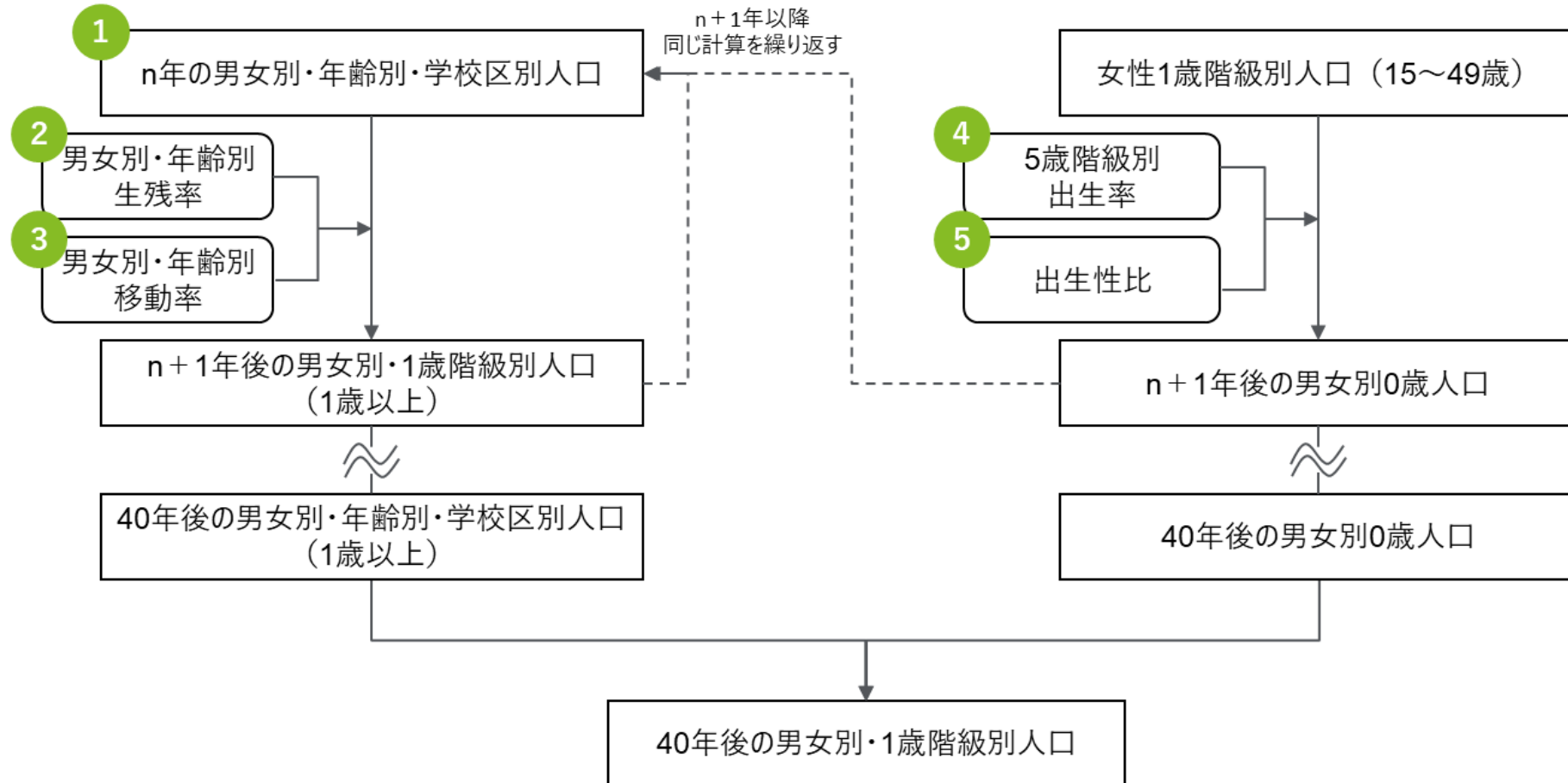
●推計方法

- ・**コーホート要因法**※による算出。
年齢別人口の加齢にともなって生ずる年々の変化を、その要因(死亡、出生、および人口移動)ごとに計算して、将来の人口を求める方法のこと。
※厚労省の研究機関でもある国立社会保障・人口問題研究所においても採用されている計算式

児童・生徒数及び学級数の推計について②

人口推計の考え方（コホート要因法）

- コホートとは、同年に出生した集団（0歳の集団、1歳の集団、10歳の集団など）のことをいい、コホート要因法は、その集団ごとの時間変化を軸に、いくつかの要因（①出生する割合、その集団が生き残る割合＝②生残率、その集団に出入りする割合＝③純移動率）を加味して推計する手法です
- 0歳については①出生する割合などから算定し、1歳以上については②生残率と③純移動率などから算定します



児童・生徒数及び学級数の推計について③

パラメータの設定

No.	項目	考え方
1	生残率	厚生労働省「第23回完全生命表」を参照
2	移動率	直近2か年の男女別、1歳階級別人口を用いて算出（全学校区共通）
3	出生率	母の年齢別出生数÷15～49歳女性人口で算出 コロナ禍の影響前である桑名市の令和2年度実績数値を使用 令和2年度合計特殊出生率（実績）：1.32
4	出生性比	過去2か年の出生数の男女比を平均して算出 男：49.6%、女50.4%
5	就学率	直近2か年の学区内人口と在籍者との差異割合を算出し、その平均数値を使用 【参考】全体として95.1%（小学生96.66% 中学生93.61%）
6	大規模開発	①市に届け出済みの「筒尾三丁目地内」「陽だまり六丁目地内」「新西方地内」「西方地内」「蓮花寺地内」の大規模開発について影響を加味 ②すでに完成している「筒尾三丁目地内」の実績をベースに1区画当たり性差比・年齢比を計算

※“市の政策成果”や“未定の大規模開発”などの不確定要素は、加味しない(恣意性の排除)

児童・生徒数及び学級数の推計について④

●推計の流れ

1

人口推計

令和5年4月時点の住民基本台帳人口から、40年間、小学校及び中学校区別に男女別・年齢別人口（0～49歳）を推計（推計方法はコーホート要因法による）

2

児童生徒数の推計①（成行推計）

地域内人口から、公立小中学校への就学率を算出し、小学校及び中学校区別の6～14歳の推計人口に、就学率を掛けて、児童・生徒数を推計

3

児童生徒数の推計②（大規模開発による影響の加算）

「2 児童生徒数の推計①（成行推計）」に、大規模開発が予定されている5事業による影響を加算

4

学級数の算出

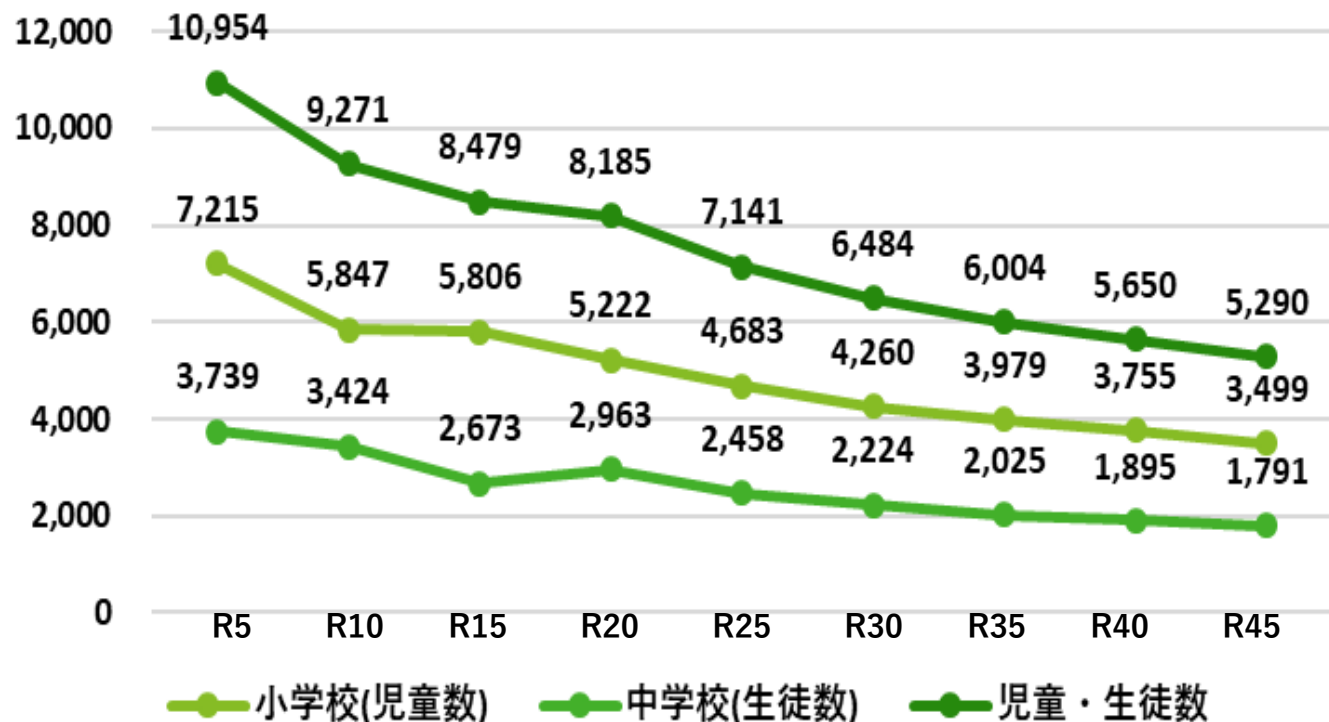
「3 児童生徒数の推計②」の結果から、学年ごとに三重県の学級編成基準に則り学級数を算出

児童・生徒数及び学級数の推計について⑤

●推計結果

児童・生徒数推移比較

単位:人



【ポイント】

現在の「令和5年度 10,954人」から、右肩下がりで、40年後の令和45年度には5,290人と**約5割減少**することが予想されます。

	R5	R5対比	R25	R5対比	R45
児童数 (小学校)	7,215人	→ 約35%減	4,683人	→ 約52%減	3,499人
生徒数 (中学校)	3,739人	→ 約34%減	2,458人	→ 約52%減	1,791人
全体数	10,954人	→ 約35%減	7,141人	→ 約52%減	5,290人

児童・生徒数及び学級数の推計について⑥

●まとめ・考察

今回の「児童・生徒数及び学級数の推計結果」によると、市内全児童・生徒数の推計は、現在の「令和5年度10,954人」をピークに、右肩下がりで、40年後の令和45年度には5,290人と**約5割減少**するとの推計結果でした。

また、小・中学校の学級数についても、現状の学校区割のままだと、既に学校再編の進む多度地区を除き、小学校については、**令和5年現在で**、国が定める標準規模であり、令和4年度実施したアンケート調査で回答者の望む割合が最も高かった『**全学年で一学年2～3学級**』を満たす学校は、23校中9校ありますが、令和45年には23校中**2校**となる結果でした。

中学校についても、**令和5年度現在で**、国が定める標準規模であり、令和4年度実施したアンケート調査で回答者の望む割合が最も高かった『**全学年で一学年4～6学級**』を満たす学校は、8校中4校ありますが、令和32年度には**8校中0校**となる結果でした。

この結果は、市民の思いという点からも“望ましい状態とはいえない”結果です。